

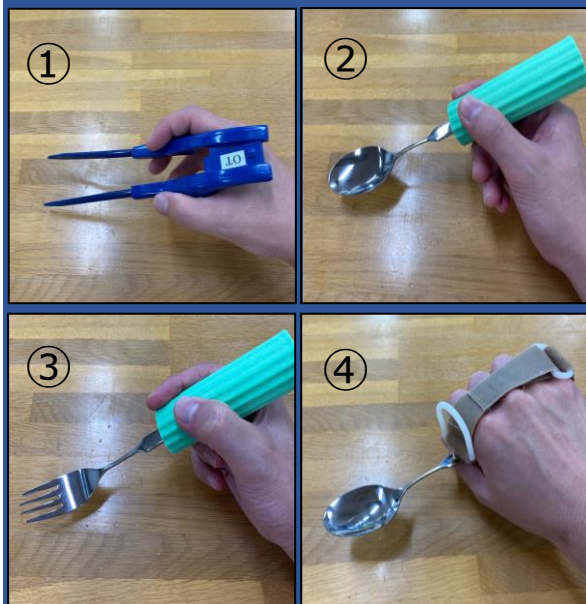
今回は「福祉用具と食事について」です

作業療法士 (OT : Occupational Therapist) は、日常生活動作の専門家です。

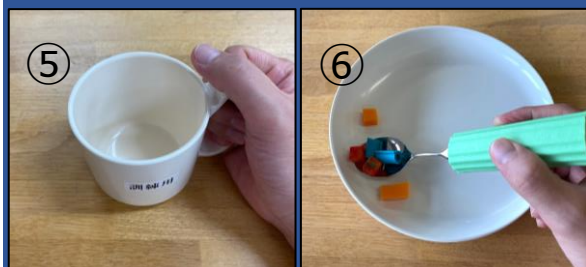
今回は食事動作で困っている方の福祉用具での解決方法をご紹介します。

こうち

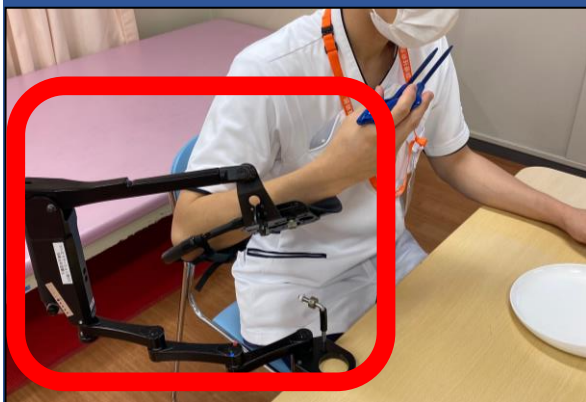
- 手指の巧緻性や筋力低下がある。



- コップを持てない、皿からすくえない。



- 腕が口元まで上がらない。



① 自助箸

バネ付きの箸で、普通の箸が使えない人でも使用出来ます。

② 太柄スプーン ③ 太柄フォーク

太柄で持ちやすいスプーンとフォークです。スプーンやフォークの先を曲げて角度をつけることが出来ます。

④ 万能力フ

手指筋力低下や麻痺があり、食具が持てない場合に使用します。万能力フの手掌側に食具を差し込めるアタッチメントがあるため、そこに食具を差し込み、手関節に巻き付けて固定します。

⑤ グリップ付きコップ

持ちやすいように、大きな取っ手がついています。

⑥ 自助食器

皿の片方の縁が高くなっており、縁に当てるようにすると上手くすくえます。

⑦ 上肢補装具

上肢に装着して口元までのリーチを補助する道具です。対象者の筋力に応じて補助する力を調整出来ます。

今回紹介した福祉用具は、対象となる方の能力により調整が必要なものがあります。迷ったら、作業療法士室内線7679までぜひご相談下さい！



文責：矢野 祐介